♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

10月に宇久井半島で見られるなかまたち！

「カモ科　ヒドリガモ」
冬鳥。全長49cm。千尋の浜にやってきました。雄は額から頭頂にかけてのクリーム色がよく目立ちます。

「セキレイ科　キセキレイ」
漂鳥または留鳥。全長20cm。細身で長い尾をフリフリしています。胸から腹にかけての黄色が特徴です。

「ミノムシ」
ミノガ科のガの幼虫です。秋に蓑を作ることから俳句では秋の季語となっています。

☆「モチノキ科　クロガネモチ」☆
常緑高木。直径6㎜ほどの赤い果実をつけています。「金持ち」に通じるネーミングから縁起木として知られます。

「ユリ科　ウバユリ」
地玉の浜への遊歩道沿いでは、パンパンに膨らんだ直径4-5cmほどの果実を見ることができます。

☆「モクレン科　オガタマノキ」☆
日本に自生するモクレン科では唯一の常緑樹です。神社仏閣では御神木とされることが多いです。

「ナンバンマイマイ科　アナナシマイマイ」
殻の直径1.5cmほど。へそ穴が閉まっているのが特徴です。和歌山県の絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

☆「コミカンソウ科　コミカンソウ」☆
高さ10cm-40cmの一年草。枝にぶら下がっている果実が小さなミカンのようなのでその名がつきました。

「キク科　ハマアザミ」
葉に鋭いトゲがあり、暖地の海岸に生える多年草。根は食べることができ「ハマゴボウ」の別名も。

☆印はビジターセンター周辺にもありますので、車イスで見に行くこともできますよ♪

ようこそ♪　宇久井ビジターセンターへ♪
ビジターセンター園地内で、秋を見つけませんか？皆様のお越しを職員一同お待ちしております。

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2018年10月後半号

吉野熊野国立公園
宇久井半島見どころマップ　秋版

＜散策時間の目安＞

○ビジターセンター～地玉の浜コース　（片道約25分）
❶ → ❷ → ❹ → ❺　約700m

○ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース　（片道約30分）
❶ → ❷ → ❸　約900m

○ビジターセンター周回コース　（一周約40分）
❶ → ❷ → ❹ → ❻ → ❶　約1200m

○ビジターセンター～千尋の浜コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❽　約1200m

○ビジターセンター～外の取コース　（片道約20分）
❶ → ❼ → ❾　約1200m

フェリーターミナル方面
通行できません

キアシシギ
ソリハシシギ
コチドリ

千尋の浜
（上地の浜）

千尋の浜方面

メジロ
キジバト
ヒヨドリ
ウグイス

南紀勝浦
休暇村

外の取

至休暇村

ヤブツバキ
マテバシイ
ウバメガシ
ヤマモモ

N
W
E
S

至 R42

マルバウツギ

上野展望台
敵船監視場跡

ビジターセンター

トベラ

作業ヤード

アキグミ
ヤブツバキ

ヤマモモ
ヘラシダ
ヒサカキ
モチノキ

オガタマノキ
蛭子神社跡地
ヤブツバキ
ヤマモモ
ハゼノキ
（メジロがよく食べに来ます）

オオキンカメムシ

畑
竹林

ヤブツバキ群生地
足元注意

木のすき間から
海が見えます。

自然観察の森

ヒサカキ

エゾビタキ・コゲラ

ホルトノキ
シロダモ
シロダモ

カラスザンショウ

周回ルート
沢

松尾展望広場

大蛇島方面通行
できません。

ヒサカキ
ツワブキ
アオノクマタケラン
シロダモ

竹林

赤灯台

クスノキ

トベラ

スダジイ

ハマオモト
ハマナデシコ
ハマゴウ
ハマナタマメ
トベラ

タイミンタチバナ

地玉（じごく）の浜

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

灯台まであと4分

ネズミモチ
ヒメユズリハ
モチノキ

タブノキ

モチノキ

木のすき間から浜が見えます。

モチツツジ

駒ヶ崎灯台

凡例

- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段